



子供たちが海のお魚を育て、学び、悩み、議論するリアル体験！

陸上養殖体験プログラム

「陸養プロジェクト」2020年度の記録 実施報告書

2021.8.5

”陸養“プロジェクト実行委員会



陸養プロジェクトは、「総合学習」の時間として、これまで全国で6つの地域、13の小学校に体験いただき、2020年度は、栃木宇都宮、埼玉春日部、東京世田谷区・台東区、静岡県浜松の4つの地域5つの小学校が参加しました

<2020年度実施のポイント>

- ① 浜松の小学校では本事業を活用し、SDGsを積極的に推進しており、持続可能な社会について実体験から学びました
- ② コロナ禍において、オンラインと対面を合わせたハイブリッド型の授業を推進。オンラインで同時多数の参加を行うことができました。デジタル学習が推進される今だからこそ、海の恵みといのちの大切さを考えるリアルな体験の価値が高まりました。
- ③ 今年度はじめての取り組みとして4つの地域をオンラインで結び、地元の海との関わりやヒラメの育て方や最後の議論の考えなどについても意見交換を行いました。自分の考えをしっかりと持つことができ、例年以上の活発な意見につながることができました

4 地域・5つの小学校でプロジェクト実施



主催：陸養プロジェクト実行委員会

共催：日本財団 海と日本PROJECT NPO 日本養殖振興会

水槽監修：NPO 日本養殖振興会

地元メディア、団体との連携

- ・東京：BSテレ東、みんなのソーシャルメディア??
- ・埼玉県：テレビ埼玉、毎日新聞、朝日新聞、NHKラジオ、春日部市広報
- ・栃木県：テレビとちぎ、下野新聞、毎日新聞、朝日新聞、共同通信、宇都宮市教育委員会
- ・静岡県：テレビ静岡、静岡新聞、中日新聞、JA三ヶ日



①【7月】 事前説明

児童へのキックオフとして、2学期からのプロジェクト開始に向け、育てるヒラメについて調べてくる課題出しを行い、事前に育てるお魚に興味を持ってもらう

実施内容：事前授業は9月以降の陸養プロジェクトを実施する前のオリエンテーションの実施。

- ①海と日本プロジェクトについて
- ②講師紹介
- ③5つのやくそく
- ④お魚三箇条・ヒラメについて（宿題）の振り出し

実施校：東京都台東区立東浅草小学校
実施日：2020/7/28

実施：東京都世田谷区烏山北小学校
実施日：2020/7/27 (Web)

実施校：静岡県浜松市立平山小学校
実施日：2020/7/16(Web)

実施校：埼玉県春日部市立江戸川小中学校
実施日：2020/7/17

実施校：栃木県宇都宮市立平石中央小学校
実施日：2020/8/18





②③【9月～10月】水槽設置、お魚受け入れ メディア誘致

児童による魚の成育用水槽キットの組立、海水作り 海の仕組みを水槽に再現し、海の課題について考える

成育する稚魚の受け入れ式 毎日のお世話や掃除についての授業を実施

実施内容：水槽設置の授業では、半年間、学校でヒラメを養殖していく学習の中で目的・ねらいに導いて行くため、養殖の要である水槽を設置、ヒラメが住むための環境について授業を行いました。

受入式の授業では、水槽設置授業で協力して完成させたヒラメの住む水槽にヒラメを迎え入れます。校長先生から一人ずつ手渡しされ、言葉を頂きました。ヒラメが各学年の水槽に入れられ、10のヒラメの命が子ども達に託されました。児童代表は一人一人、抱負を宣言、半年間ヒラメの世話を通して、海への問題意識を深め、大きく成長することを決意しました。

実施校：東京都台東区立東浅草小学校

水槽設置実施日：2020/9/15 受入れ式実施日：2020/9/30

実施校：東京都世田谷区烏山北小学校

水槽設置実施日：2020/9/5.7 受入れ式実施日：2020/9/10

実施校：静岡県浜松市立平山小学校

水槽設置実施日：2020/10/7 受入れ式実施日：2020/10/8

実施校：埼玉県春日部市立江戸川小中学校

実施日：2020/9/29 受入れ式実施日：2020/10/6

実施校：栃木県宇都宮市立平石中央小学校

実施日：2020/9/23 受入れ式実施日：2020/9/28





④【10月～1月】座学

養殖についての授業を実施。養殖の種類や地元の海との関わりなどについて学ぶ。

※任意で中間発表の実施。学んだこと、現状の考えを発表します（参観日など）。

実施内容：コロナ禍でのオンライン授業での実施。養殖とは「人間の力で育てて増やすこと」を設置・受入授業で学びました。5年生では社会科で水産業を勉強しているので、学習の深掘りを行います。今回の養殖授業では養殖の種類や栽培漁業との違い、養殖の長所・短所を学ぶ中で、養殖の課題から、海の問題や水産資源の問題も踏まえて、未来の養殖を考えていくキッカケを投げかけています。

- ・養殖の種類「畜養」と「完全養殖」の違いと比較
- ・養殖と似ているけど「栽培漁業」との違いと比較
- ・養殖の課題「餌の問題（海洋資源）」「湾内環境」「病気」「稚魚の乱獲」

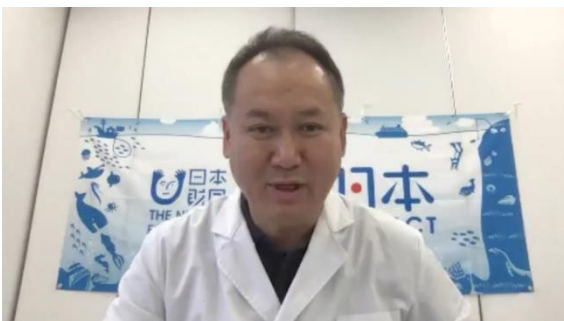
実施校：東京都台東区立東浅草小学校
実施日：2021/1/21.22

実施校：東京都世田谷区烏山北小学校
実施日：2020/9/14

実施校：静岡県浜松市立平山小学校
実施日：2020/11/2

実施校：埼玉県春日部市立江戸川小中学校
実施日：2020/11/19

実施校：栃木県宇都宮市立平石中央小学校
実施日：2021/2/24



⑤【交流会】

海の資源についてみんなで考える！「陸養プロジェクト」オンライン交流会の実施。

育てたお魚を最後、食べるか、どうするか、その結論の前に、多様な学びや意見に触れることで自分の結論に深みを持たせる。



実施内容：東京世田谷区の烏山北小学校、栃木県宇都宮市の平石中央小学校、静岡県浜松市平山小学校、全員で152名が参加しました。

実施日：2021/6/8

<当日のプログラム>

プログラム① 自分たちが住む地域の海のことや海との関わりについて各学校の発表

1. 静岡県浜松市平山小学校「わたしたちの学校のSDGs 陸養で学んだこと」
2. 東京都世田谷区烏山北小学校「東京湾で海水浴！海を守るために自分たちができること」
3. 栃木県宇都宮市平石中央小学校「海のない栃木で、江戸時代から続く魚食文化」
4. 東京都台東区東浅草小学校「陸養プロジェクトから学んだ 海の課題」

プログラム②これまで学んだことや今日感じたことも踏まえてのグループディスカッション

海の恵みを守っていくためには何が必要か、どんな行動をしていかなければいけないのかを話合っ発表しました

<主な発表>

【浜松市平山小学校】

- ①ポイ捨ての防止：ゴミを食べた魚が食卓に並べば自分の身体にも影響が出る。双方を守るためにも。
- ②洗剤の使用を減らす：洗剤には界面活性剤が含まれており有毒。使用量を抑える他、川に流れない工夫をする。
- ③魚を獲りすぎない：乱獲の影響を考え、自分たちのことだけを優先せずに、食べられる量だけを獲る。
- ④農薬の使用を減らす：海と山は繋がっているという観点から、山からも海を守る取り組み。

【宇都宮市平石中央小学校】

- ①エコな製品を活用：エコバッグ、電気自動車やハイブリッド自動車。可能なら自動車ではなく自転車を。
- ②ポイ捨て防止+3Rを意識：ゴミを減らす。
- ③ひとりひとりができることを考える：自分だけなら大丈夫という考えを捨てる。

【東京都世田谷区烏山北小学校】

- ①エコな製品を活用：エコバッグ、紙ストロー。できるだけプラスチックなど自然分解されないものを使わない。
- ②必要な量だけを食べる：必要以上に食べようとせず、食べ物を残さない。
- ③エネルギー面を考える：風力発電への切り替えや、個人での節電を心がける。
- ④養殖業を応援：若い人材を確保するためのイベント開催や、漁師さんへの支援金。
- ⑤海との関わりを大切にする





⑥【3～7月】 議論 メディア誘致

育てた魚をどうするか、自発的な意見を促し、子どもたちで議論し結論を出す

1回で結論が出ない場合、複数回実施（2～3コマ想定）

実施内容：養殖本来の目的である「食べる」という選択肢に、子どもたちはどう向き合うか？半年間、魚の成長過程を記録し、自分たちが食べている魚や海の問題を皆で考えてきました。最終結論として、育てた魚をどうする（食べるのか、食べないのか）のか、その理由は？子供たちが、海の恵みについて深く考え、議論する様子を通して、日本の海の恵みの大切さや海の問題についての気づきにつなげました

<議論で出た主な意見>

【食べる理由】

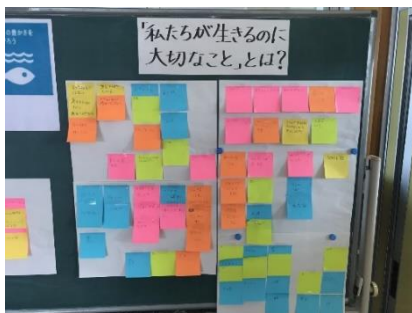
- ・養殖は食べるためだから
- ・大切に育ててきたから
- ・死んでしまったヒラメの分まで食べてあげたい

【食べない理由】

- ・もっと大きくなると思う
- ・自由に生きて欲しいから

<結論>

お家のお父さん、お母さん、祖父母や兄弟の意見も参考にし、自分で考えて、子供たち一人ひとりが答えを出しました。子供たちの意見の中で印象的だったのは、「育ててきた責任」という意見でした。海に放すのも、下級生に渡すのも無責任。だったら、自分たちで育てて食べるというのが責任ある結論という意見でした。最初は、食べない派、食べる派 約半々や食べないがほとんどの学校など様々でしたが、参加校すべてが、食べるという結論に至りました。「責任」というワードが意見が変わるスイッチだったように感じました。



⑦⑧【3月】 実食、片付け メディア誘致

最終結論（実食）の実施。海の恵みの大切さ（いのちの大切さ）を学ぶ ※前日に仕込を行います

終了式の実施 水槽キットの片付け（掃除と解体） 環境問題や養殖の課題や未来についての考えをワークシートにまとめ、プロジェクトの総括を行います

実施内容：実食の授業

斉藤先生は元寿司職人で、食事前の「いただきます」の意味や料理を作ってくれる人への感謝は忘れないことを改めて教えてくれました。1匹に包丁を入れる瞬間、児童らは緊張した表情で見守っていました。子どもたちからは、「感謝してもきれないくらい味わって食べることができた」、「『いただきます』という言葉を通して、このことを思い出したいと思いました」命をいただくとはどういうことなのか。悩みながら出した結論は、子どもたちを成長させるはずです。

コロナで思うように授業ができなかったり、ヒラメさんが死んでしまったり、いつも以上に大変苦勞の多い半年間でしたが、子供たちと先生には本当に頑張っていたいただいた年でした。先生方もこの陸養を通して、本当に子供たちが成長してくれたと、言っていただきました

実施内容：片付けの授業

プロジェクトの最後はきちんと掃除と片付けです。頑張ってくれた水槽もきれいにしてあげました。半年間で水槽は、ヒラメさんの糞や水の汚れなどによるものです。実際の海も一緒に、養殖でもこの糞をいかに浄化させ、「きれいな海をいかに保つか」が、今後の課題だということ子どもたちが学びました。

実施校：東京都台東区立東浅草小学校

議論実施日：2021/7/5.9 実食・片付け実施日：2021/7/13

実施：東京都世田谷区烏山北小学校

議論実施日：2021/5/24 実食・片付け実施日：2020/9/10

実施校：静岡県浜松市立平山小学校

議論実施日：2021/6/18 実食・片付け実施日：2021/6/24

実施校：埼玉県春日部市立江戸川小中学校

議論実施日：2021/3/19 実食・片付け実施日：2021/3/24

実施校：栃木県宇都宮市立平石中央小学校

議論実施日：2021/6/28 実食・片付け実施日：2021/6/29



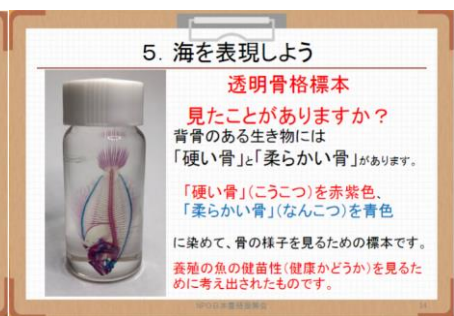
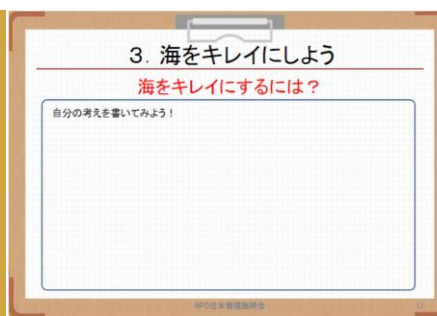
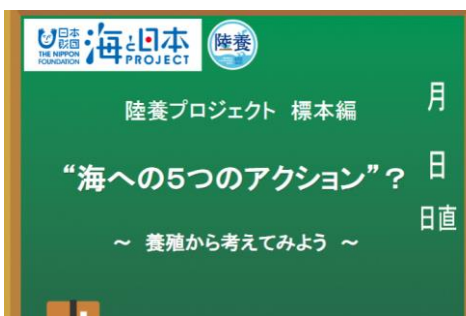
養殖から生まれた技術「骨格標本」を使いながら海の魚の生態（骨）の進化を知る

実施内容：陸養プロジェクト実施校に加え、東京都内4つの小学校および新宿高島屋で行われた「食育マルシェ」において、養殖から生まれた技術「透明骨格標本」を通して魚の進化や生態について学びました

<実施のポイント>

- ① 漁獲量減少などの海の問題から知る養殖の必要性
- ② 透明骨格標本から学ぶ魚の進化と生態
- ③ 魚への興味が湧くと同時に、命を大切にすることを忘れないようにする

東京都渋谷区上原小学校	2020年11月25日
東京都大田区大森第一小学校	2020年12月8日
東京都大田区馬込小学校	2021年2月18日
東京都練馬区豊玉南小学校	2021年1月18日
高島屋 食育マルシェ	2020年10月3日



新聞・テレビ計26回、WEBメディア47回、計73回の露出を獲得

受け入れ式		
2020/9/28 宇都宮市 平石中央小学校		
1	共同通信	※掲載日未定 全国配信
2	毎日新聞の栃木版	10月3日掲載
3	下野新聞	10月14日掲載
4	とちぎテレビ	放送日:10月7日(水)1800-1900
5	東京新聞 夕刊	2021年1月16日掲載 1面
2020/9/30 台東区 東浅草小学校		
1	浅草経済新聞	10月13日~11月12日 配信
2	ソーシャルインノベーションニュース	
3	BSテレ東	番組:「みんなのあおいろ」 放送日:
2020/10/6 春日部市 江戸川小中学校		
1	春日部経済新聞	10/7 配信
2	Yahoo!ニュース	10/7 配信
3	毎日新聞埼玉東支局	10/19(月)掲載
4	テレビ埼玉	10月4日(火)17:45~18:15「ニュース545」
5		10月4日(火)21:30~21:45「ニュース930」
6		10月30日(金)、情報番組「マチコミ」内での放送
7	NHKさいたま	(県域FM) 放送日は10月7日の18時50分からの「埼玉県内のニュース」
2020/10/8 浜松市 平山小学校		
1	中日新聞しずおか	本紙掲載およびWeb 10月9日 配信
2	静岡新聞社	10月8日の夕刊掲載
3	テレビ静岡	10月8日 16:45~17:00 ただいまテレビ
交流会		
2020/10/6 東京世田谷区の烏山北小学校、栃木県宇都宮市の平石中央小学校、静岡県浜松市平山小学校		
1	毎日新聞の栃木版	6月9日掲載
2	ニコニコニュース	http://news.nicovideo.jp/watch/nw9458432
3	とれまがニュース	https://news.toremaga.com/release/others/1905131.html
4	BtoBプラットフォーム	https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/search/./detail.page?IMNEWS4=2630223
5	ORICON NEWS	https://www.oricon.co.jp/pressrelease/913042/
6	マピオンニュース	https://www.mapion.co.jp/news/release/00000052.000077920/
7	ジョルダンニュース!	http://news.lordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000052A000077920
8	Infoseekニュース	https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes.00000052.000077920/
9	STRAIGHT PRESS	https://straightpress.jp/company_news/detail?pr=00000052.000077920
10	財経新聞	https://www.zaikei.co.jp/releases/1327605/
11	フレッシュアイ	https://news.fresheve.com/prtimes/article/pr-00000052.000077920.html
12	@DIME(アットタイム)	https://dime.jp/company_news/detail/?pr=858419
13	おたくま経済新聞	https://otakei.otakuma.net/prtimes/06151502631.html
14	BEST TIMES(ベストタイムズ)	https://www.kk-best-sellers.com/articles/~/press_release/994610/
15	エキサイトニュース	https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2021-06-15-77920-52/
16	@niftyビジネス	https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog prt00000052000077920.1.htm
17	NewsCafe	https://www.newscafe.ne.jp/release/prtimes2/20210615/730860.html
18	ウレぴあ総研	https://ure.pia.co.jp/articles/~/1074418

議論・実食	
2021/3/19.24 春日部市 江戸川小中学校	
1	朝日新聞埼玉全県版 2021/3/31掲載
2	毎日新聞埼玉東支局 2021/4/1掲載
3	YAHOO! ニュース 2021/4/1配信
4	msnニュース 2021/4/1配信
5	テレビ埼玉 放送日:2021/3/19 NEWS545
6	テレビ埼玉 放送日:2021/3/24 NEWS545
7	テレビ埼玉 放送日:2021/4/7 マチコミ
2021/6/18. 24 浜松市 平山小学校	
1	静岡新聞 2021/6/28掲載
2	中日新聞 2021/7/10掲載
3	テレビ静岡 2021/7/14ただいま! テレビ
2021/6/28.29 宇都宮市 平石中央小学校	
1	下野新聞 7月3日掲載
2	毎日新聞の栃木版 7月15日掲載
3	とちぎテレビ 放送日:2021/7/9 情報ワイド、イブ6プラス
その他WEBニュース	
1	暮らしニスタ https://kurashinista.jp/pressrelease/detail/247921
2	30min. サンゼロミニッツ http://30min.jp/release/prtimes/detail/223655
3	おたくま経済新聞 https://otakei.otakuma.net/prtimes/06151502885.html
4	Traicy(トライシー) http://release.traicy.com/posts/20210615288570/
5	@DIME(アットタイム) https://dime.jp/company_news/detail/?pr=858446
6	ニコニコニュース http://news.nicovideo.jp/watch/nw9459010
7	STRAIGHT PRESS https://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000053.000077920
8	とれまがニュース https://news.toremaga.com/release/others/1905405.html
9	BEST TIMES(ベストタイムズ) https://www.kk-bestsellers.com/articles/-/press_release/995184/
10	エキサイトニュース https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2021-06-15-77920-53/
11	All About NEWS https://news.allabout.co.jp/articles/p/000000053.000077920/
12	財經新聞 https://www.zaikei.co.jp/releases/1327763/
13	BtoBプラットフォーム https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/search/.../detail.page?IMNEWS4=2630379
14	ORICON NEWS https://www.oricon.co.jp/pressrelease/913099/
15	ハビママ* https://ure.pia.co.jp/articles/-/1074839
16	ウレぴあ総研 https://ure.pia.co.jp/articles/-/1074784
17	ジョルダンニュース! http://news.jorudan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000053A000077920
18	CREA WEB http://crea.bunshun.jp/ud/pressrelease/60c88c1a776561606e020000
19	eltha(エルザ) https://beauty.oricon.co.jp/pressrelease/913206/
20	Infoseekニュース https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes.000000053.000077920/
21	フレッシュアイ https://news.fresheve.com/prtimes/article/pr-000000053.000077920.html
22	@niftyビジネス https://business.nifty.com/cs/catalog/business.release/catalog prt000000053000077920_1.htm
23	ReseMom(リセママ) https://resemom.jp/release/prtimes/20210615/72296.html

YAHOO! 2021/4/1

毎日新聞 2021/4/1



YAHOO! ニュース IDでちょっと便利に新規取得 ログイン 毎日お得、本日の値下げ商品ははこちら

キーワードを入力

トップ 速報 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

育てたヒラメ、食べる?食べない? みんなで決めていく命

4/1(木) 8:46 配信 34



埼玉県春日部市立江戸川小中学校（小林学校長）の児童らが3月24日、「いのちの授業」として陸上養殖体験していたヒラメを食用した。児童らは育てたヒラメを「食べるのか、食べないのか」を3回にわたり議論し、最終的に13人のうち10人が「食べる」と回答。実食することになった。

いのちの授業は、日本財団の「海と日本プロジェクト」が2018年から実施する事業の一環で、NPO法人日本養殖振興会の指導を受け、20年10月から校内で5年生の児童が養殖していた。

実食は同校の家庭科室で行われた。養殖振興会の斉藤浩一代表理事は元板前の経験から、食事前の「いただきます」の言葉に「命をいただく」ことや、料理を作った人への感謝の意味があることを説明。続けて1匹を包丁で5枚におろし、児童らは緊張した表情で見守った。

その後、児童らは自分たちが育てたヒラメと業者が養殖したヒラメの刺し身を味わった。議論の中で「食べないで海に放してあげたい」との考えを示した男子児童（11）は「みんなで決めた事だから食べたけど、心残りはある」。別の男子児童は「自分たちが育てた方が柔らかくておいしい」と話していた。



毎日新聞

4月14日(水)

トップ 速報 特集 連載 社会 政治 経済 国際 スポーツ 環境・科学 カルチャー

育てたヒラメ、食べる?食べない? みんなで決めてい

社会 | 暮らし・学び・医療 | 学び・教育・入試 | 速報 | 埼玉

毎日新聞 | 2021/4/1 08:46(最終更新 4/1 10:57) | English version | 561文字



埼玉県春日部市立江戸川小中学校（小林学校長）の児童らが3月24日、「いのちの授業」として陸上養殖体験していたヒラメを食用した。児童らは育てたヒラメを「食べるのか、食べないのか」を3回にわたり議論し、最終的に13人のうち10人が「食べる」と回答。実食することになった。

いのちの授業は、日本財団の「海と日本プロジェクト」が2018年から実施する事業の一環で、NPO法人日本養殖振興会の指導を受け、20年10月から校内で5年生の児童が養殖していた。

実食は同校の家庭科室で行われた。養殖振興会の斉藤浩一代表理事は元板前の経験から、食事前の「いただきます」の言葉に「命をいただく」ことや、料理を作った人への感謝の意味があることを説明。続けて1匹を包丁で5枚におろし、児童らは緊張した表情で見守った。

その後、児童らは自分たちが育てたヒラメと業者が養殖したヒラメの刺し身を味わった。議論の中で「食べないで海に放してあげたい」との考えを示した男子児童（11）は「みんなで決めた事だから食べたけど、心残りはある」。別の男子児童は「自分たちが育てた方が柔らかくておいしい」と話していた。

msn 2021/4/1



msn ニュース powered by Microsoft News

crieo 広告の停止

この広告について報告する

Ad choices

毎日新聞

育てたヒラメ、食べる?食べない? みんなで決めてい

毎日新聞 2021/04/01 08:46



毎日新聞 速報 養殖したヒラメがさばかれる様子を見つめる児童ら=埼玉県春日部市立江戸川小中学校で2021年3月24日、古賀三男撮影

埼玉県春日部市立江戸川小中学校（小林学校長）の児童らが3月24日、「いのちの授業」として陸上養殖体験していたヒラメを食用した。児童らは育てたヒラメを「食べ

受入式



テレビ埼玉2021/7/3



テレビ埼玉2021/7/3



テレビ埼玉2021/7/3

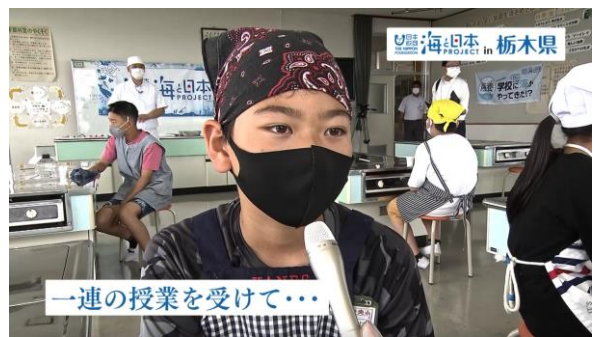


栃木テレビ2021/7/3

議論・実食



テレビ埼玉2021/7/3



栃木テレビ2021/7/3



テレビ静岡2021/7/3



テレビ埼玉2021/7/3



YouTube

再生回数754,934
 コメント4808
 いいね数1.1万
 B A D数814

TikTok



いいね数10.3万
 コメント3371
 シェア数1529



いいね数23.96万
 コメント8283
 シェア数4036

B 2 ポスター



WEBサイト



ステッカー



横断幕



ニュースリリース／受入れ式 × 4エリア分

ご取材のお願い

2020年10月吉日



報道関係者各位

春日部市の小学生が校内でヒラメを養殖！ “陸上養殖”プロジェクト「お魚受け入れ式」を開催

2020年10月6日（火）14時～ <埼玉県春日部市立江戸川小中学校>

“陸上養殖”プロジェクト実行委員会は、「陸上養殖」の体験を通して命の大切さや、水産資源の貴重さ・自分たちが住む地域の海の問題について学んでもらう取り組みを開始いたします。今年度は東京、埼玉、栃木、静岡の4地域5つの小学校で実施いたします。これは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

このプログラムは、「いのちの授業」を通して、海や海の生命について子どもたちに考えてもらい、海を未来へ引き継ぐ行動のきっかけづくりを目的としており、昨年に続き3度目の開催となり、これまでに全国6地域13の小学校（青森・千葉・東京・富山・愛媛・長崎）の児童たちが実施してきました。

今年度、栃木県では宇都宮市平石中央小学校の5・6年生がヒラメの養殖にチャレンジします。初めての海水魚の養殖、全ての判断は子どもたちに委ねられます。子どもたちは、最終的に育てた魚を食べるのか、それともどうするでしょうか。

今回は、10月6日（火）14時から「お魚受け入れ式」を開催いたしますので、ぜひご取材をいただけますと幸いです。添付の返信フォーマットに必要事項をご記入の上、**2020年10月5日（月）までにご返信くださいますようお願い申し上げます。**

日時	2020年10月6日（火）14:00～15:30
実施場所	〒344-0103 埼玉県春日部市上吉妻1 ◆当日現場の緊急連絡先：090-2093-8554（担当：開上）
プログラム	<p>① ヒラメの受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ↳ 水槽前にクラスごとに代表者2名が集合 ↳ 齊藤先生の言葉 ↳ ヒラメの受け渡し ↳ 水槽にヒラメを入れる ↳ クラス代表者の言葉（目標を発言します） <p>② 養殖にあたっての「5つの約束」の確認</p> <p>③ 養殖などに関する説明（給餌や掃除の仕方、等）</p>

【取材時のお願い】

- * 収録前の検温に体調チェックをおこない、37度以上熱や倦怠感がある場合、撮影は欠席願います
- * 収録スタッフは「マスクを着用」するほか、感染防止に最大限に注意願います
- * 校内に入る前、出る前に手の消毒をお願い致します
- * 収録スタッフは「必要最低限の人数」でお願いします
- * 収録前後には使用する機材やマイク・小道具などは「消毒」をお願いします
- * スタッフの水分補給用の飲料にも十分配慮をお願いします

<お問い合わせ先>

“陸上養殖”プロジェクト実行委員会 事務局 担当：開上・中島 電話：076-431-2010
 “陸上養殖”プロジェクト実行委員会は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、
 次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人とがつながることを目的として、
 本事業を実施しています。

PRレポート／オンライン交流会

2021年6月10日



報道関係者各位

4つの地域 152名の児童がオンラインで海の資源について考える！

陸上養殖リアル体験プログラム

「陸養プロジェクト」オンライン交流会開催

2021年6月8日（火）



次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で実施している「陸養」プロジェクト（代表 穀島 毅）は、子供たちが海のお魚について、学んで、悩んで、育てる陸上養殖体験プロジェクトの「オンライン交流会」を実施致しました。

子供たちは自分たちで育てたお魚を最後、食べるか、どうするかを決めます。その結論は、多様な学びや意見に触れることで生まれます。

この陸養プロジェクトの一環として、東京世田谷区の島山北小学校、栃木県宇都宮市の平石中央小学校、静岡県浜松市平山小学校、全員で152名が参加。富山、東京、浜松、宇都宮の4エリアをオンラインで結ぶ初めての取り組みです。

ニュースリリース／議論・実食 × 4エリア分

ご取材のお願い

2021年6月16日

報道関係者各位



「命を頂くこと」の意味を考える

海から離れた宇都宮市の小学生 陸上養殖してきたヒラメの今後を議論

「いのちの授業」2021年6月28日(月) / 「結論実行の授業」同年6月29日(火)

<栃木県宇都宮市平石中央小学校>



陸養プロジェクトは、子供たちが海のお魚を育て、学び、悩み、議論するリアル体験陸上養殖体験プロジェクト(代表 養島 毅)。次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で実施しています。

栃木県宇都宮市平石中央小学校では、5、6年生がヒラメの養殖に、昨年9月よりチャレンジしてきました。成育期間の終了に際し、悪戦苦闘しながらも大切に育ててきたヒラメを、子どもたちが、今後どうするのか、話し合って結論を出し、それを実行します。

養殖本来の目的である「食べる=命を頂く」事に対する、子どもたちの心の葛藤と出した結論は、全ての方に、海の大切さや感謝を改めて考えるきっかけになればと考えています。

2日間にわたり、魚の今後を決める議論「いのちの授業」と、出した結論を「実行する授業」を開催いたします。子どもたちが、命と向き合う様子を、ぜひご取材いただけますと幸いです。

添付の返信フォーマットに必要事項をご記入の上、2021年6月24日(木)までにご返信くださいますようお願い申し上げます。

日時	<ul style="list-style-type: none"> ●2021年6月22日(火) 議論の前の意識共有 13:30~14:15 または 14:25~15:10 ●2021年6月28日(月) いのちの授業 議論 13:50~14:35 ●2021年6月29日(火) 結論実行の授業 結論の実行・片付け 10:40~12:15
実施場所	栃木県宇都宮市立平石中央小学校 栃木県宇都宮市下平出町479 ◆当日現場の緊急連絡先: 090-2093-8554 (陸養プロジェクト事務局 担当: 開上)

ニュースリリース／骨格標本

ご取材のお願い

2020年11月吉日



報道関係者各位

命をより身近に感じる、魚の透明骨格標本


標本によみがえる魚の進化を学び、海の問題について考えよう！

2020年12月8日（火）＜東京都大田区大森第一小学校＞

「陸養」プロジェクト実行委員会は、「陸上養殖」の体験を通して命の大切さや、水産資源の貴重さ・自分たちが住む地域の海の問題について学んでもらう取り組みを行っています。今年度は東京、埼玉、栃木、静岡の4地域5つの小学校で実施いたします。これは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる「日本財団「海と日本プロジェクト」」の一環です。

今年度、陸養プロジェクト実施校に加え、東京都内5つの小学校において、養殖から生まれた技術「透明骨格標本」を通して魚の進化や生態について学びます。また、漁獲量の減少や乱獲などから養殖の必要性について学ぶことで海の諸問題を身近なものとして考え、行動していかなければならないという意識変化につなげていきます。

今回は、2020年12月8日（火）、東京都大田区大森第一小学校で授業を行いますので、ぜひご取材をいただきたいと思います。添付の返信フォーマットに必要事項をご記入の上、**2020年12月4日（金）までにご返信くださいますようお願い申し上げます。**

日時	2020年12月8日（火） ① 8：45～9：30（座学） 9：35～10：20（標本瓶詰） ② 10：40～11：25（座学） 11：30～12：15（標本瓶詰）	
実施場所	〒151-0064 大田区大森東三丁目1番18号 ◆当日現場の緊急連絡先：090-2093-8554（担当：開上）	
プログラムのポイント	① 漁獲量減少などの海の問題から知る養殖の必要性。 ② 透明骨格標本から学ぶ魚の進化と生態。 ③ 魚への興味が湧くと同時に、命を大切にすることを忘れないようにする。	

【取材時のお願い】

- *収録前の検温に体調チェックをおこない、37度以上熱や倦怠感がある場合、撮影は欠席願います。
- *収録スタッフは「マスクを着用」するほか、感染防止に最大限に注意願います。
- *校内に入る前、出る前に手の消毒をお願い致します。
- *収録スタッフは「必要最低限の人数」でお願いします。
- *収録前後には使用する機材やマイク・小道具などは「消毒」をお願いします。
- *スタッフの水分補給用の飲料にも十分配慮をお願いします。

＜お問い合わせ先＞

「陸養」プロジェクト実行委員会 事務局 担当：開上 電話：076-431-2010
 「陸上養殖」プロジェクト実行委員会は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人とがつながることを目的として、本事業を実施しています。